

卒業
おめでとう卒業生の
みなさんへ

PTA会長 祝辞

「輝く未来にむけて」
みかた PTA 会長 遠藤 勝裕

オツベルときたら大したもんだ。稲扱《いねこき》器械の六台も据《す》えつけて、のんのんのんのんと、大それた音をとててやっている。

十六人の百姓《ひゃくしょう》どもが、顔をまるっきり真っ赤にして足で踏《ふ》んで器械をまわし、小山のように積まれた稲を片っぱしから扱《こ》いて行く。藁《わら》はどんなうしろの方へ投げられて、また新しい山になる。そこらは、粃《もみ》や藁から発《た》ったこまかな塵《ちり》で、変にぼうっと黄いろになり、まるで沙漠《さばく》のけむりのようだ。

そのうすくらしい仕事場を、オツベルは、大きな琥珀《こはく》のパイプをくわえ、吹鼓《ふきぐら》を藁に落さないよう、眼《め》を細くして気をつけながら、両手を背中に組みあわせて、ぶらぶら往《い》ったり来たりする。

小屋はずいぶん頑丈《がんじょう》で、学校ぐらいもあるのだが、何せ新式稲扱器械が、六台もそろってまわってるから、のんのんのんふるうのだ。

贈る言葉

校長先生 祝辞

「笑顔を忘れずに」
校長 桐谷 次郎

そしたらそこへどういうわけか、その、白象がやって来た。白い象だぜ、ペンキを塗《ぬ》ったのでないぜ。どういうわけで来たかって？ そいつは象のことだから、たぶんぶらっと森を出て、ただなにとなく来たのだろう。

そいつが小屋の入口に、ゆっくり顔を出したとき、百姓どもはぎょっとした。なぜぎょっとした？ よくきくねえ、何をしだすか知れないじゃないか。かかり合っつては大へんだから、どいつもみな、いっしょうけんめい、じぶんの稲を扱《こ》いていた。

ところがそのときオツベルは、ならんだ器械のうしろの方で、ポケットに手を入れながら、ちらっと鋭《するど》く象を見た。それからすばやく下を向き、何でもなしというふうで、いままでどおり往ったり来たりしていたもんだ。

するとこんどは白象が、片脚《かたあし》床《ゆか》にあげたのだ。百姓どもはぎょっとした。それでも仕事が忙《いそが》しいし、かかり合っつてはひどいから、そっちを見ずに、やっぱり稲を扱《こ》いていた。

味方

みかた

第95号

令和4年3月14日発行
山王市立味方小学校
編集・発行 広報委員

1
年生2
年生

音楽会

6
年生

子ども達の素晴らしい演奏が
体育館いっぱいに広がり素敵な発表会でした。

3
年生4
年生5
年生

5組



Thank you for the wonderful music

Enjoy Time
MIKATAまつり
令和3年10月29日(土)

今年度も大変盛り上がりしました。

Enjoy Time MIKATA まつり

オツベルは奥《おく》のうすくらしいところで両手をポケットから出して、も一度ちらっと象を見た。それからいかにも退屈《たいくつ》そうに、わざと大きなあくびをして、両手を頭のうしろに組んで、行ったり来たりやっていた。



編集後記

「ずうっとこっちに居たらどうだい。」百姓どもははっとして、息を殺して象を見た。オツベルは云ってしまったから、にわかにがたがた顫《ふる》え出す。ところが象はけろりとして「居てもいいよ。」と答えたもんだ。「そうか。それではそうしよう。そういうことにしようじゃないか。」オツベルが顔をくしゃくしゃにし

大川納涼
花火大会

令和3年8月20日(日)



地区大縄跳び大会

優勝

令和3年11月26日(土)

5年1組
フェニックス

記録：280回(大会史上歴代3位)

2組
31名

歩

心

努力

友

志

楽

誠

爽

平

笑

明

運

光

絆

美

望

百姓どもはきくとし、オッペルもすこしきつとして、大きな琥珀のパイプから、ふつとけむりをはきだした。それでもやっぱりいらないふうで、ゆつくりそこらにあるいていた。そしたらどうとう、象がこのこ上つて来た。そして器械の前とこを、呑気《のんき》にあるきはめたのだ。

極



祝福のメッセージ

幸

祝

絆

友

清

笑

夏

学

心

心

勝

学

軍

福

明

祝

互

空

運

感謝の気持ちを漢字一文字に込めて・・・

先生ありがとう！

信

祝

動

学

心

友

福

空

和

感

勝

友

涼

歩

ところが何せ、器械はひどく廻《まわ》っていて、初《もみ》は夕立か霰《あられ》のように、パチパチ象にあたるのだ。象はいかにもうるさいらしく、小さなその眼を細めていたが、またよく見ると、たしかに少しわらっていた。オッペルはやつと覚悟《かくご》をきめて、桶扱《いねこき》器械の前に出て、象に話をしようとした。

和



祝福のメッセージ

楽

志

友

誠

美

動

絆

笑

輝

祝

笑

絆

美

笑

輝

道

照

爽

希

まったく初は、パチパチパチパチ歯にあたり、またまっ白な頭や首にぶつかる。さあ、オッペルは命懸《いのちが》けた、パイプを右手にもち直し、度胸を据えて斯《こゝろ》うろた。『どうだい、此処《ここ》は面白《おもしろ》いかい。』「面白《おもしろ》いねえ」象がからだを斜《よこ》ななめにして、眼を細くして返事

夢



祝福のメッセージ